

** 2018年9月改訂 (第4版)
* 2015年2月改訂 (第3版)

日本標準商品分類番号
872612

外皮用殺菌消毒剤 **医薬品**

ポビドンヨードエタノール液10% 綿棒8「LT」

貯法：直射日光を避けて、室温保存
使用期限：容器等に表示
火気厳禁 アルコール類 危険等級II 水溶性
注意：取扱い上の注意の項参照

承認番号 22200AMX00926000
薬価収載 薬価基準未収載
販売開始 2010年10月

**【組成・性状】

**1. 組成

綿棒 1本あたり 10w/v%ポビドンヨード液 1.6mL 充填

有効成分	本溶液 1mL中にポビドンヨード100mg (有効ヨウ素として10mg)含有
添加物	濃グリセリン、無水クエン酸、無水リン酸一水素ナトリウム、ラウロマクロゴール、エタノール、pH調整剤
担体	綿棒
充填量	綿棒8×1本 1.6mL 綿棒8×2本 3.2mL

2. 性状

本品は暗赤褐色の液剤で、特異なおいがある。溶剤として日局エタノールを含有し、速乾性を有する。

【効能・効果】 【用法・用量】

効能・効果	用法・用量
手術部位(手術野)の皮膚の消毒	本剤を塗布する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与 (次の患者には慎重に使用すること)

- 1) 本剤又はヨウ素に対し過敏症の既往歴のある患者
- 2) 甲状腺機能に異常のある患者 [血中ヨウ素の調節ができず甲状腺ホルモン関連物質に影響を与えるおそれがある。]

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

(1) 重大な副作用

ショック、アナフィラキシー (呼吸困難、不快感、浮腫、潮紅、蕁麻疹等) (0.1%未満) があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。

(2) その他の副作用

種類 \ 頻度	0.1%未満
過敏症 ^{注)}	発疹等
皮膚	接触皮膚炎、痒痒感、灼熱感、皮膚潰瘍、皮膚変色
甲状腺	血中甲状腺ホルモン値 (T ₃ 、T ₄ 値等)の上昇あるいは低下などの甲状腺機能異常

注) 症状があらわれた場合には、使用を中止すること。

3. 臨床検査結果に及ぼす影響

酸化反応を利用した潜血試験において、本剤が検体に混入すると偽陽性を示すことがある。

4. 適用上の注意

(1) 使用部位

- 1) 損傷・創傷皮膚及び粘膜には使用しないこと。(エタノールを含有するため刺激作用を有する。)
- 2) 経口投与しないこと。

(2) 使用時

- 1) 大量かつ長時間の接触によって接触皮膚炎、皮膚変色があることがあるので、溶液の状態でも長時間皮膚と接触させないこと。(本剤が手術時に体の下にたまった状態や、ガーゼ・シャツ等にしみ込み湿った状態で、長時間皮膚と接触しないよう消毒後は拭き取るか乾燥させるなど注意すること。)
- 2) 眼に入らないように注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。
- 3) 石けん類は本剤の殺菌作用を弱めるので、石けん分を洗い落としてから使用すること。

- 4) 電気的な絶縁性をもっているため、電気メスを使用する場合には、本剤が対極板と皮膚の間に入らないよう注意すること。
- 5) エタノールを含有しているため、電気メスを使用する場合には、本剤を乾燥させ、エタノール蒸気の拡散を確認してから使用すること。特にドレープ(覆い布)等の使用時には、本剤が液状として残ったり、ドレープ下に気化したエタノール蒸気が充満することで、引火しやすくなるおそれがある。

5. その他の注意

ポビドンヨード製剤を新生児に使用し、一過性の甲状腺機能低下を起こしたとの報告がある。

【薬効薬理】

1. 抗菌作用

ポビドンヨードは、抗菌スペクトルは広く、グラム陽性菌・陰性菌、真菌、結核菌及びHBV、HIVを含む一部のウイルスに有効である。また、生物質耐性菌にも有効である。

2. 抗菌効果

ポビドンヨードエタノール液10% 綿棒8「LT」が細菌等を殺菌するのに要した時間は次の通りであった。

ポビドンヨードエタノール液10% 綿棒8「LT」殺菌効果

被験菌	作用時間	殺菌率
<i>Staphylococcus aureus</i> NBRC 3060	30 秒	≥99.99%
<i>Pseudomonas aeruginosa</i> NBRC 3445	30 秒	≥99.99%
<i>Escherichia coli</i> NBRC 3301	30 秒	≥99.99%
<i>Candida albicans</i> NBRC 1594	30 秒	≥99.99%
<i>Bacillus cereus</i> NBRC 13494	30 秒	≥99.99%

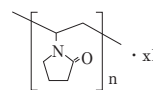
【有効成分に関する理化学的知見】

一般名 :ポビドンヨード Povidone Iodine

化学名 :Poly[(2-oxopyrrolidin-1-yl)ethylene] iodine

分子式 : (C₆H₉NO)_n · xI

構造式 :



性状 :ポビドンヨードは暗赤褐色の粉末で、わずかに特異なおいがある。水又はエタノール(99.5)に溶けやすい。

本品 1.0g を水 100mLに溶かした液のpHは1.5~3.5である。

*【取扱い上の注意】

1. 綿棒や薬液を継ぎ足して使用しないこと。
2. 衣類に付いた場合は水で容易に洗い落とせる。また、チオ硫酸ナトリウム溶液で脱色できる。
3. 開封後は速やかに使用すること。

**【包装】

綿棒8×1本 : 60包入

綿棒8×2本 : 60包入

【主要文献】

- 1) リバテープ製薬社内資料

製造販売元

リバテープ製薬株式会社

〒861-0136 熊本県熊本市北区植木町岩野45番地
TEL 096-272-0691